

ゆとり

(理念)

地域の基幹病院として、患者様に信頼され、愛され、満足される、質の高い医療を目指します。

(基本方針)

1. 高度医療の充実
 1. 高齢化社会への対応
 1. 予防医学の充実
- を目指した、「手作りの医療」を心がけています。

** Contents **

- 下肢静脈瘤に対するレーザー治療を始めました。
- 下肢静脈瘤とは…下肢静脈瘤の概要
- インフルエンザにかからないために!!

★★年末年始のお休みのお知らせ★★

平成24年12月29日(土) 午前診療

平成25年12月30日(日) から平成25年1月3日(木) 休診

※救急の場合は、常時診療を受付けております。

平成25年1月4日(金) より通常診療となります。

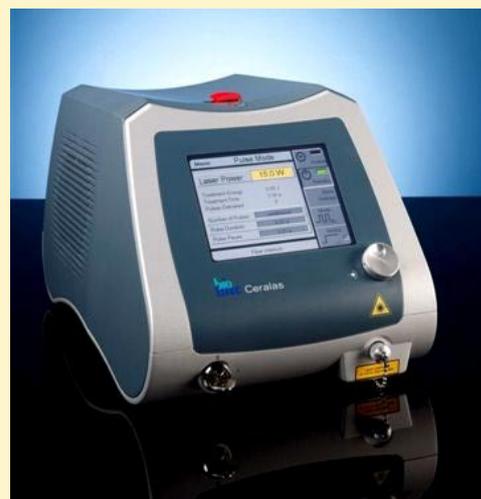


下肢静脈瘤に対するレーザー治療を始めました。

2012年9月より日本静脈学会、日本脈管学会、日本血管外科学会などから構成される血管内レーザー焼灼術実施・管理委員会により作成された「下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準」による実施施設となりました。

2012年9月よりELVeSレーザーによる治療を始めています。

ELVeSレーザーによる下肢静脈瘤レーザー治療は2011年より保険適応になっています。



ELVeSレーザーによる下肢静脈瘤治療

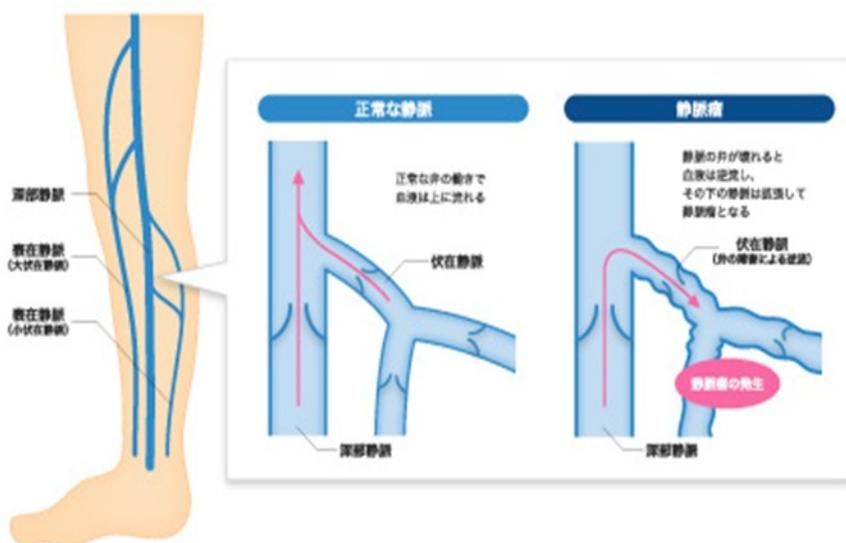
<http://www.varixlaser.jp/product/actually.php>

★下肢静脈瘤とは…下肢静脈瘤の概要

下肢静脈には筋肉の中を走る「深部静脈」と皮膚と筋肉の間を走る「表在静脈」があり、静脈瘤ができるのは皮膚に近い伏在静脈と呼ばれる表在静脈です。

下肢の静脈には血液が重力によって足先へ逆流しないように弁がついています。それらの弁が壊れると血液の逆流が起こり、うっ血が生じて血管の拡張や蛇行することによりコブができます。

これが下肢静脈瘤です。



下肢静脈瘤の写真と症状



こんな症状があったら下肢静脈瘤かも…

- ◇足の静脈がコブ状になり、だるい・重い・疲れる・ほてる
- ◇歩行時もしくは就寝中に、こむら返り（足がつる）を起こすことがある
- ◇かゆみ・皮膚硬結・皮膚炎や湿疹がある・皮膚が黒くなる・潰瘍ができています

◎下肢静脈瘤が発生しやすい方の特徴

❁女性に多く見られます

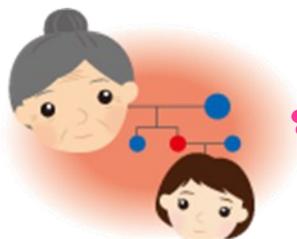


❁妊娠・出産をきっかけに発生しやすくなっています



❁加齢と共に静脈瘤発生の頻度が増加します

❁美容師、調理師など長時間の立ち仕事の方に多く見られます



❁親族に静脈瘤がある場合に発生頻度が高くなります

下肢静脈瘤は早めの予防と治療が大切です！

初期症状は軽いですが、放置しておくと湿疹や色素沈着などの皮膚炎を起こし、最悪の場合は皮膚に潰瘍ができて穴があいてしまうこともあります。一旦発症すると治りにくく、加齢とともに症状は進行悪化します。

まずは当院、心臓血管外科へご相談下さい。

インフルエンザにかからないために!!

これからの季節、流行してくるのが「インフルエンザ」
インフルエンザにかからないために、どのように予防したらよいか
いくつか紹介していきましょう

☆流行前のワクチン接種

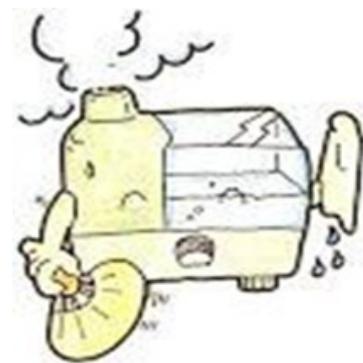
ワクチンは、「接種したから感染しない」というもの
ではありません。でも、感染した場合の重症化予防に
有効なものです。



☆外出後の手洗い



手洗いは手に付いたウイルスを洗い落とす感染予防の
基本です。また、うがいも風邪など一般的な感染症
予防にも有効です。



☆適度な湿度の保持

のどが乾燥すると、風邪やインフルエンザに
かかりやすくなります。

暖房等で乾燥している室内では、加湿器を使って湿度を保ちましょう。



☆十分な休養とバランスのとれた食事

抵抗力・免疫力を高めるために、十分な休養と
バランスのとれた食事をするように気をつけま
しょう。



☆人の多い場所への外出はさける

インフルエンザが流行してきたら、ご高齢者の方や小さなお子様・疲労
睡眠不足の方などは、できるだけ外出をさけましょう。

どうしても外出する場合は、マスクをして、人の多い場所にいる時間を
できるだけ短くするようにしましょう。